

シンポジウム

「日本の未来と教育予算

——基礎的な科学リテラシーを保証するために」

急激に少子高齢化に向かう日本が、世界の中で名誉ある地位を占め続けるには、国の予算も大きく見直さなければならない時期に来ています。現在、日本の公財政教育支出は GDP 比では OECD31 개국中で最低です。そのため、大学卒業までにかかる教育費が高く、少子化に拍車をかけています。

財務省は、今後少子化になるので、教育予算をそれに見合せて減らしても大丈夫という資料(文部・科学技術関係資料 財務省主計局)を出していますが、平成 67 年(2055)には、1 人の高齢人口に対して 1.3 人(現在 2.6 人)の現役世代となり、これからの教育は、一部のエリートを育てるだけでなく、どの子どもにも新しい課題を見つけ挑戦する強い意欲とそれを実現できる高い学力を保証する教育が不可欠です。しかし、約 100 時間の授業を行う理科の教材(消耗品)費は小中学校では子ども一人あたり年間 300 円台であるなど、理科教育への支援は大きな課題です。

NPO 法人理科カリキュラムを考える会(理事長・滝川洋二)は、理科教育の視点から世界の教育との比較を行い、教育予算およびカリキュラムの見直しについての提言を含めたシンポジウムを行います。

◎日 時： 2014 年 6 月 15 日(日)13 時～17 時 (12 時 15 分受付開始)

◎会 場： 東海大学代々木キャンパス 4 号館 5 階講堂 (東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4)

◎主 催： NPO 法人理科カリキュラムを考える会

◎共 催： 東海大学教育研究所

◎後 援： 日本教育新聞

◎協 賛： 株式会社アルファ企画

◎参加費： 無料 資料・茶菓子代 300 円

◎プログラム： 「財務省への文科省からの提案」 藤原誠 文部科学省大臣官房審議官
「理数科教育:未来への投資」 西村和雄 神戸大学特命教授
「探究的な力を育てる教育への投資を」 滝川洋二 東海大学特任教授
「判断し行動する子どもを育てる理科カリキュラム案」
石渡正志 甲南女子大学教授
「基礎的な科学リテラシーを保証する教育条件整備」
小川慎二郎 早稲田大学高等学院
「参加者を交えた総合討論」 司会 長濱元 東洋大学名誉教授

◎問い合わせ： 理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎

(電子メール) sympo@rikakari.jp

(郵送) 〒177-0044 東京都練馬区上石神井 3-31-1 早稲田大学高等学院